

TKペーストCN-7120 取扱説明書

- 安全のため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

[特長]

1液タイプで作業性も良好な常温乾燥型銀ペースト。
金属への密着性に優れ、信頼性試験後も密着力を維持します。

[特性値と使用条件]

項目	特性値	備考
比抵抗	$5 \times 10^{-4} \Omega \cdot \text{cm}$	線幅1mm×塗布厚み100umで塗布。25℃×4時間乾燥後
保存条件	-10℃以下	
粘度	27Pa·s	E型粘度計@25℃ 5rpm

[安全上の注意]

- 本品は引火性の有機溶剤を含有します。取り扱い場所は火気厳禁とし、作業場の換気は十分に行ってください。
- 水分の混入を防ぐため、本品は必ず室温(15～25℃)で30分間密栓放置し常温に戻してください。
常温に戻す際は強制加熱(温水や熱水、オーブン、ホットプレートなど)を用いしないでください。
容器が破裂するおそれがあります。
- 本品の有害性、応急処置等の詳細な注意事項につきましては、安全データシート(SDS)に記載しております。ご使用前に必ずご確認ください。

[取扱い上の注意]

- 本品は-10℃以下で保存してください。
- 本品を塗布する前に、アルコールやアセトンなどの洗浄溶剤を用いて接着面を洗浄してください。接着面が清浄でない場合、特性が損なわれるおそれがあります。
- 本品は乾燥することにより導通が得られます。乾燥が不十分な場合、導電性が得られないおそれがあります。導電性が安定するまでの乾燥時間は、乾燥温度や塗布量などにより異なりますので、II.取扱いに記載のグラフを参照の上、乾燥条件を設定ください。



[使用方法]

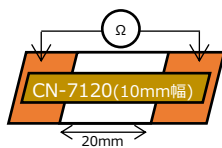
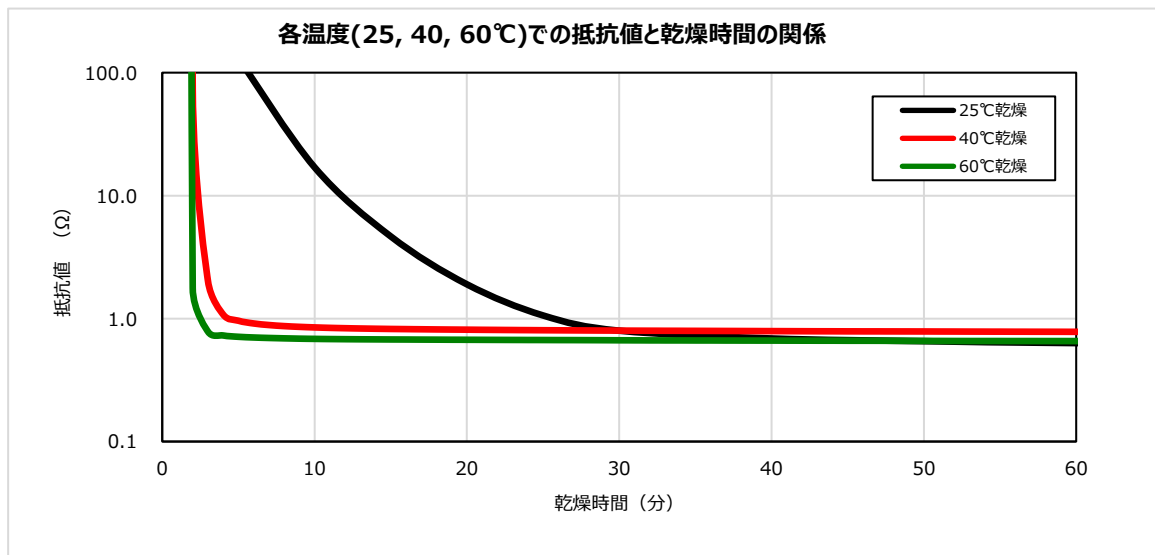
I. 保存

- 本品は-10℃以下で保存してください。
-10℃以上で保存されると成分が分離・沈降し、十分な特性を得られないおそれがあります。
- 複数保存される場合は、古いロット(チューブの折り返し部分に刻印している数字の小さいもの)からご使用ください。

II. 取り扱い

- 本品を取り扱う際はSDSをよく読み、以下の手順に従ってご使用ください。
誤った使い方をされると、本品の性能が十分に得られないおそれがあります。

取扱い手順	注意事項
①本品を冷蔵庫から取出し、密栓したまま室温で30分以上放置して常温に戻してください。 開封前に容器に付着した水滴をふき取ってください。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 常温にする際には、強制加熱(熱水、温水、ホットプレート、オーブン、ドライヤーなど)をしないでください。容器が破裂するおそれがあります。 ✓ 容器に付着した結露は必ずふき取ってください。 接着剤に水分が混入すると、本品が使用できなくなります。
②接着剤を塗布する部分をアルコールやアセトンで洗浄し清浄にしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 接着剤を塗布する部分にフラックスや油分などがあると十分な性能が得られないことがあります。 ✓ 洗浄後は十分に乾燥させてください。洗浄剤が残留していると十分に接着できないことがあります。
③ディスペンサーなどを用いて塗布してください。 ニードル内径は0.3mm以上のものを推奨します。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ニードルの内径が小さいと接着剤が詰まるおそれがあります。
④本品は乾燥することにより導電性が得られます。 導電性が安定するまでの時間は乾燥温度や塗布量などによって異なります。下記グラフを参照の上、ご使用の条件に合わせて乾燥条件を設定してください。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 常温に戻してからの本品のポットライフは25℃で24時間です。 ポットライフを過ぎたものは使用せずに廃棄してください。 高温下や周囲の環境によってはポットライフ内であっても特性が低下することがあります。実際のご使用状況に併せて管理してください。



***測定手順**

- ① CN-7120を銅パッド付きガラス基板の上に塗布
(塗布幅10mm、塗布厚み100um)
- ② 所定の条件で乾燥
- ③ 室温に戻して抵抗値測定

III. 廃棄

- 本品は他のものとの混入を避けてください。使用済みの容器内に本品が残っている場合や本品をふき取ったウエスなども他のものとの混入を避け、分別して廃棄してください。
- 本品を廃棄する場合は、専門業者に委託してください。



本説明書中のデータは、弊社の実施した評価結果に基づいていますが、お客様のご使用時の製品特性を保証するものではありません。
実際に使用される装置および被着材で十分ご検討の上、ご使用ください。